

## 桐光会へのお礼メッセージ(2013年度第2期)

---

### #1

この度は奨学生として採用して頂き、ありがとうございました。お陰様で、学校生活を続けていく事が出来ます。

父の病気により2年前から段々と生活が苦しくなっておりましたが、突然の父の死により悲しみとこれからの生活とが重くのしかかり、母と二人どうしようかと困惑しておりました。採用して頂いた事により私と同時に母も一安心でき、心より感謝しております。

残りの学生生活を有意義に充実したものに出来る様、今まで以上に勉学に励む事で少しでも恩返しを出来ればと思っています。

社会学部社会情報学科奨学生本人

### #2

この度は桐光会奨学生を認めて頂き、ありがとうございます。

昨年5月に突然父が倒れ、どうしてよいのか分からず動揺しておりましたが、病と闘う父と看病する家族を見て色々考えました。大学の中でも先輩となる立場で不安も在りながら、頑張らなければいけないと必死でした。父が病気になった事で、沢山の方々の力をお借りしてきました。

これからがまた新しいスタートだと思っているので、沢山の方々の助けを無駄にする事なく、最後の学生生活を有意義に送れるよう頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

人間学部子ども学科奨学生本人

### #3

この度は桐光会奨学生として採用して頂き、誠にありがとうございます。

母が体調を崩し退職をしてから、学納金の面で不安な学生生活を送っていましたが、今回採用して頂き、心の重りがとても軽くなりました。

最終学年となった今、無事就職先も決まり、私に残された学生の時間はほんの僅かになりましたが、最後まで学ぶ心を忘れずに勉学に励みたいと思います。卒業後も目白大学の卒業生としての誇りを持ち、名に恥じぬよう社会に貢献し続けたいと思います。

この度のご支援を、心から感謝申し上げます。

社会学部地域社会学科奨学生本人

**#4**

この度は世情厳しき中にも関わらず、桐光会奨学金を給付頂けますことを心より厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして、勉学に打ち込める環境を得る事が出来ました。私は、自分自身の心をより豊かにする事を目標に目白大学に入学致しました。今後の大学生活も目標に近づける様、努力を怠る事無く励んで参る所存です。

ご支援、洵にありがとうございます。

人間学部心理カウンセリング学科奨学生本人

**#5**

この度は桐光会奨学生として採用して頂き、本当にありがとうございました。

ここ数年、私の家庭では様々な事があり、辛い時期がありました。しかし大変な家庭環境の中、日々頑張っている学生は私の他にも沢山いると思います。

様々な方のご協力とお力を頂いた以上、現状に甘えず気を引き締めて頑張ります。また最後の学生生活を精一杯過ごしたいと思います。

この度は、本当にありがとうございました。

社会学部社会情報学科奨学生本人